

令和5年7月21日

保護者 様

小平市立小平第二中学校
校長 吉田 功

令和5年度第1回学校評価(保護者アンケート)に向けて

日頃から本校の教育活動にご理解ご協力いただき、ありがとうございます。

さて、このたび、スクールメールを活用して第1回学校評価(保護者アンケート)を実施いたします。これに先がけ、今学期の取組状況について下記のとおりお知らせいたします。ご一読の上、アンケートにご回答ください。

記

【通常の学級】

<学習面>

学習面では、教員の授業力の向上、学習者用端末の活用に取り組んでいます。

まず、学校全体の取組としては、昨年度からの授業における「二中スタンダード」(時間を大切にする、授業のめあてや流れを提示する、ICT機器を活用するなど)に基づく授業づくりに取り組んでいます。全ての教員が生徒にとって分かりやすく、学びやすい授業を行えるようになることで、生徒たちの学力向上にとってプラスになります。こうしたことを踏まえ、今年度の校内研究テーマでも取り上げ、授業の質向上に学校全体で取り組んでいます。

次に、学習者用端末の活用については、5月後半から家庭への持ち帰りを順次実施しました。以前、スクールメールでお伝えしたとおり、新しい学習指導要領に基づく学習を具現化していく手段として学習者用端末の積極的な活用が求められています。現状では、地域や学校によって活用に差が出ている状況です。本校でも遅ればせながら持ち帰りを始めました。真に持ち帰りの効果を発揮するためには、学校で行われる授業そのものが進化していく必要があります。これについては、目下の課題です。

さらに、昨年度の3年生(現卒業生)で導入した学習者用アプリ「Monoxer(モノグサ)」を今年度、全学年で導入しました。今月10日には生徒全員を対象に講演会を実施し、活用の効果、意義について学びました。家庭学習で積極的に活用してくれることを期待しています。

このほか、長期欠席生徒を対象とした個別教室を今年度も継続して実施しています。数は多くありませんが、学校を長く休んでいた生徒の登校の足がかりになっています。

<生活面>

生活面では、落ち着いた学校生活を送れるようにすることが大切です。この春に卒業した3年生たちが残してくれた、上級生が下級生にお手本を見せる姿を「二中ブランド」として継承し、下級生たちにも指導しています。特にRIKUTAIでは、実行委員を中心に取り組むことができました。そのほか、生徒会行事や部活動で上級生が頑張っている姿を見ることができました。

生徒会活動では、7月18日の生徒会企画行事に向け計画・準備し、当日、実施することができました。

その他、昨年度学校ホームページ上に設置した「相談フォーム」では、1学期末までに16件の相談があり、担当教諭につなげ対応することができました。

今年度、WEBQU（ウェブキューキュー）アンケートを導入しました。これによりお子さんが学級の中でどのような思いを抱きながら生活を送っているのかをおよそ把握できるようになり、必要な手立てを打つことができています。三者面談の場でこれについて話題になることもあるかもしれません。

いじめについては、今学期3件ありました。その内2件が解決済み、1件が見守り中です。いじめ発見の多くは、年3回実施している「ふれあいアンケート」からが多いです。

長期欠席している生徒数は、昨年度、それまでの増加傾向に歯止めをかけることができました。今年度の3年生は進路のこともあってか人数が減少し、登校できる生徒が増えています。2年生の数は横ばいですが、1年生では、例年より少ない状況です。今年度は、昨年度配置された不登校加配の教員の活用方法の改善を図り、個別教室の運用を充実させています。

<その他>

業務改善の一環として、昨年度から学校だよりや保健だよりなどをデジタル配信にしました。しかし、紙ベースでの配付希望もあることから、今年度、学校だよりについては、デジタル配信と紙ベースでの配布との併用で行っています。

4月にお知らせしましたが、本校では、令和7年4月に自閉症・情緒障がい特別支援学級が開設されます。その関係で夏休み期間中に現図書室と閲覧室を南校舎4階視聴覚室の場所に移転させます。現図書室と閲覧室は、普通教室になります。来年度は、北校舎2階の美術室を含めた教室を特別支援学級用に改装する工事が入ります。

【特別支援学級（G 組）】

<学習面>

学習面では、生徒一人一人の実態に応じて、一斉に授業を受けたり、グループに分かれたりして学習をしています。どの時間も教員や補助員がしっかり付いて指導しており、個に対応した授業が行われています。また、学習者用端末の活用にも積極的に取り組んでいます。

<生活面>

生活面では、生活の自立を目指し、きめ細かく指導をしています。朝登校時と午後の下校時には校長室に顔を出し、挨拶してくれる生徒がたくさんいます。校外学習や球技大会での現地への移動の場面では交通系 IC カードや手荷物の管理などを教員から教わり、実行していました。

部活動では、通常の学級の生徒に混じって活動している生徒もいます。

G 組の授業を見学すると、通常の学級で求められている個別最適の学習がすでに実践されており、今後の授業のあるべき姿を示してくれています。合唱コンクールや作品展を楽しみにしていただけたいと思います。

以上

以上を参考に7月31日（月）までにアンケートへの回答をお願いいたします。